

1. 新大学入試について（現時点で分かっていること）

POINT 1 2021年1月「大学入学共通テスト」が実施される

国語、数学それぞれ3問記述式問題が導入される。他問題は従来のマークシート選択式
英語はリーディング、リスニングの配点が100点ずつになります。

POINT 2 資格・検定試験の活用が進む

「話す」「書く」「聞く」「読む」の4技能を評価する、民間の資格・検定試験を利用する大学が多くなります。

＜認定された資格・検定試験＞

GTEC、英検、TOEIC L&R、TOEIC S&W、TOEFL iBT、TEAP/TEAP CBT

IELTS、ケンブリッジ英語検定

これらの中から、高3の4月～12月までに受験した2回までの成績が、大学入試センターを通じて各大学に通知される。実施日程はまだ公表されていません。

2021年度入試でどのように活用するかは大学によって方針が異なります。

【2021年度 国公立大学の例】

活用パターン	大学名
出願資格 一定水準以上の認定試験の結果を出願資格とする	東京大、大阪大、九州大
加点 共通テストの英語の得点に加算する	岩手大、静岡大
出願資格+加点 上記2つを併用する	東京工業大、熊本大
みなし得点 認定試験の成績を点数に置き換える	広島大

POINT 3 高校での学習や諸活動が評価される方向へ

学力試験に加え、調査書や活動報告書を評価しようとする流れがあります。3年間の活動を整理しておくといいです。本校では「総合学習ファイル」を生徒に持たせ、使用したプリント等をファイリングし記録が散逸しないよう指導しています。出願時に本人記載の活動報告書の提出が求められる場合がありますが、その際、ある特定の提出方法が求められているわけではありません。（eポートフォリオでなければならぬわけではありません）

注意 高2生の学習内容は昨年度の2年生と変わっていません。正しい情報が見えにくくなっています。現中1が新学習指導要領のもとで、新しい学習内容となっています。

入試年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
大学入試		共通テスト導入				新学習指導要領で共通テスト
受験学年	現高3	現高2	現高1	現中3	現中2	現中1

旧学習指導要領の下で学習
新学習指導要領1期生

2. 本校の進路指導について

①組織的、系統的な進路指導を行います

進路シラバスをご覧ください。

②生徒には以下の3点を求めています

- ア. 授業第一主義・・・予習、復習授業の積み重ねが受験につながる
- イ. 課題テスト、小テスト、スキマ時間の活用・・・積み上げが大きな力に
- ウ. 将来を見据えて動く・・・大学、学部、学科選び、（大学調査5月～9月実際に大学を見る）

③定期的な模試で実力をチェックします

＜全員模試＞

8/18（日）河合全統模試・・・これまでの学習の定着度、全国の位置づけ

10/6（日）駿台全国模試・・・ハイレベル模試、応用力の確認

2/8（土）共通テスト早期対策模試（ベネッセ）・・・新テスト対策

・希望模試（一覧参照）については、部活動の日程と調整してください。この時期、必ず受けなくてはいけないというものではありません。

・模試の判定の見方

この時期A判定が出なければ合格できないものではありません。判定はあくまでも目安です。

④資格・検定試験への対応

昨年同様に、GTECを1月に全員が受験します。

⑤選択の幅が広がる勉強を強く勧めます 科目を絞っても受験は有利になりません。

（類型選択が6月にあります、詳しくは学年係から説明があります）

国公立大学

大学入学共通テスト・・・5（6）教科7（8）科目が必須

私立大学

中央大学 法学部 法律 <センター利用入試の例>

統一4教科（定員35） 3. 2倍

統一3教科（定員30） 8. 5倍

早稲田大学政経学部は共通テストで数学を必須とすると発表がありました。

国公立大型の勉強を維持すれば、私立大学にも対応できるが、逆は不可能

国立大学の志願者は8年連続の減少しています。幅広く目を地方までを向ければチャンスが拡大する傾向が続いています。

金沢大学・・・北陸新幹線で2時間

東北大学・・・東北新幹線で1時間

名古屋大学・・・東海道新幹線で2. 5時間